

## 第3回 糸魚川市駅北復興まちづくり計画検討委員会 次第

平成29年5月11日(木) 10:30～

場所 ヒスイ王国館2階ホール

### 1. 開会

### 2. 報告

#### (1) 第2回委員会後の取組概要

・ブロック別意見交換会の開催状況

資料1-1

・復興まちづくりカフェ(4/23)

資料1-2

### 3. 議事

(1) 復興まちづくりの目標(目指す姿)について

資料2

(2) 重点プロジェクトについて

資料3

(3) 復興まちづくり計画に関する提言書(案)について

資料4

(4) その他

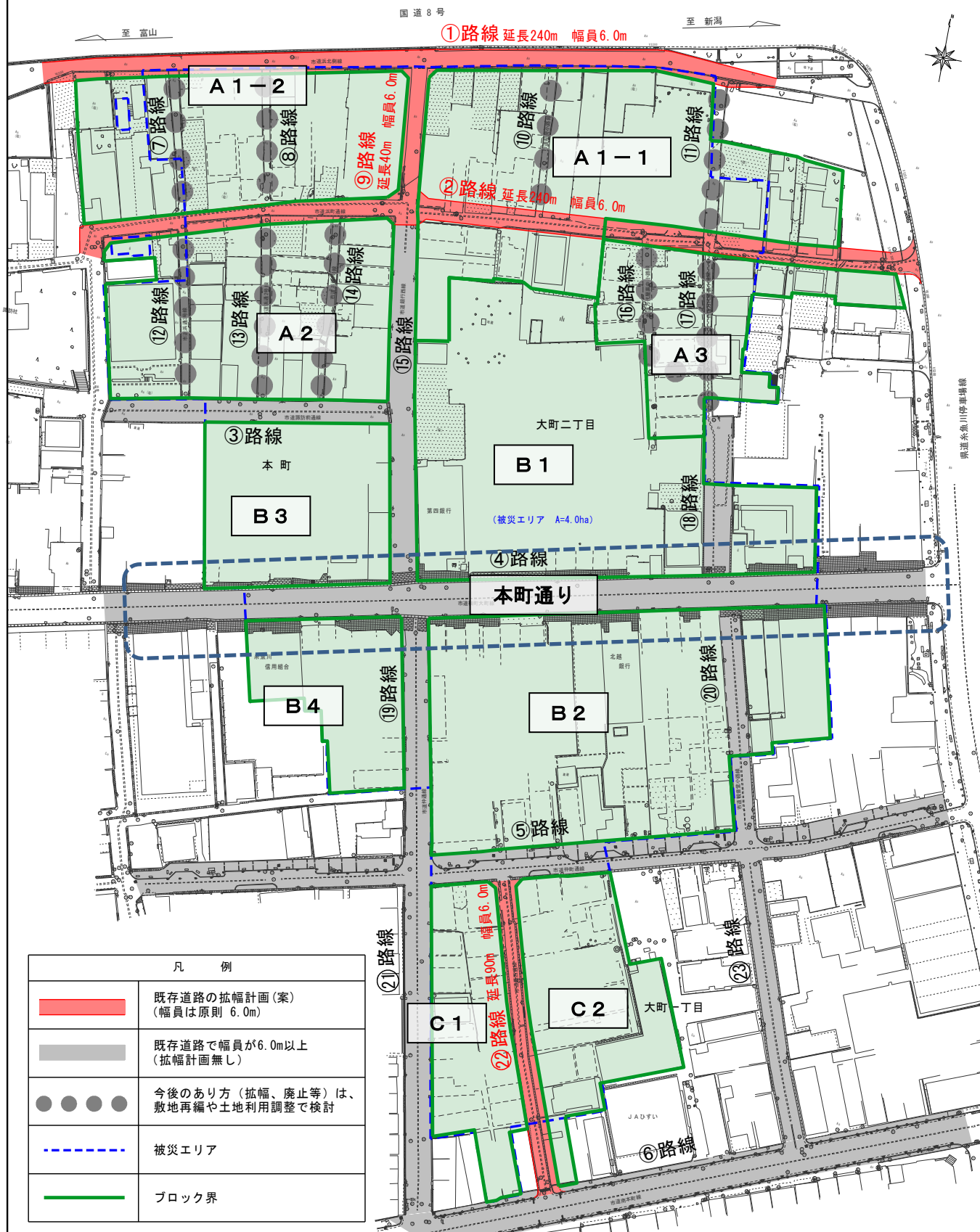
### 4. その他

・次回の日程について

■ブロック別意見交換会の進捗状況

※本資料は、道路拡幅計画の素案であり、今後の復興まちづくり計画の検討等により変更される場合があります。

市道拡幅計画(案)



| ブロック名 | 意見交換内容、今後の予定等   |
|-------|---|
| A1-1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/1に全体会を開催(1回)。その後、個別に道路拡幅と敷地再編の意向を確認中。</li> <li>5/10、5/15に用地立会の予定。</li> </ul>                                       |
| A1-2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/1、4/8に全体会を開催(2回)。敷地の再編は行わない。</li> <li>①②⑨路線については概ね協力の意向。一部で計画線を見直し中。</li> <li>5/19に用地立会の予定。</li> </ul>             |
| A-2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/1に全体会を開催(1回)。その後、個別に敷地再編の意向を確認中。</li> <li>5/13に2回目の全体会を開催予定。</li> <li>5/19に用地立会の予定。</li> </ul>                     |
| A-3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/1、4/27に全体会を開催(2回)。</li> <li>⑦路線の拡幅と敷地再編の案について個別に意向を聞き取り中。</li> <li>5/10、5/15に用地立会の予定</li> </ul>                    |
| B-1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>道路拡幅計画がなく敷地も整っていることから全体会は未開催。</li> <li>5/12に本町通りブロックに合わせて開催予定。</li> <li>5/10、5/15に用地立会の予定</li> </ul>                 |
| B-2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/1、4/13に全体会を開催(2回)。その後、個別に敷地再編の意向を確認中。</li> <li>北越銀行から西側で敷地再編の意向。</li> <li>5/10、5/22以降で用地立会の予定。</li> </ul>          |
| B-3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/2、4/11に全体会を開催(2回)。</li> <li>民間資本の参入の動きがあり、地権者個々に打診中。</li> <li>4/20に用地立会実施済み。</li> </ul>                            |
| B-4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/2、4/6に全体会を開催(2回)。その後、地権者間の話し合いを継続。</li> <li>一部について、敷地再編の意向。</li> <li>5/11に3回目の全体会を開催予定。5/22以降で用地立会の予定。</li> </ul>  |
| C-1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体会は行わず、地権者と個別に協議中。②路線の道路拡幅については協力の意向。</li> <li>5/22以降で用地立会の予定。</li> </ul>   |
| C-2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/2に全体会を開催(1回)。②路線の道路拡幅については協力の意向。</li> <li>敷地再編は行わない。5/22以降で用地立会の予定。</li> </ul>                                     |
| 本町通り  | <ul style="list-style-type: none"> <li>景観と不燃化のルールづくりを行うための勉強会を開催。</li> <li>4/14、4/28に本町通り商店街、商工会議所と事前打合せを実施。</li> <li>5/12に本町通り沿線住民を含めた勉強会を開催予定。</li> </ul> |

※4月末現在までの状況をまとめたものであり、各ブロックの方向性として決定したものではありません。

## 第2回 駅北復興まちづくりカフェの開催について（報告）

○開催日時：平成29年4月23日（日）13:30～17:00 会場：糸魚川地区公民館

○参加者数：32名

○内 容：復興まちづくりの目標（将来像）に対する意見・アイデア出しと参加者の意向。

第1回カフェでの復興まちづくりに向けたアイデアを重要度と実施主体に着目して整理。

○結果概要：参加者から出されたキーワードをもとに、目標を複数案提示し、意向を確認できた。

「行政」、「民間」、「官民協働」で取り組むべきアイデアについて、参加者が重要と思う事業アイデアを絞りこみ、確認することができた。



### 【復興まちづくりの目標】

（参加者から出されたキーワード、キーフレーズ）

キラッと輝く、笑顔あふれる、やる気元気、若さあふれるまちをつくろう、安心して活気あふれるすみよいかたい絆、絆を深め希望のあるまちを、何度でも蘇るヒスイ街道、ひろう（拾う）、国石の里、ヒスイ街道、おまんた 支え合い、交流 みどり、ヒスイ文化 日本海文化 人が集う おいしい、雁木で守る おまんた ヒスイ 塩の街 輝く交わる、歴史ある酒づくり、街道 海のみえる、加賀街道、塩の道 など



（投票による意向の確認）

「再生の神降り、絆で進むヒスイ街道糸魚川」

「ヒスイのようなカタイ絆で笑顔の街道を歩いて行こう」

「輝きをずっと ワクワクをもっと 笑顔の街道糸魚川」

「有史から山と海に囲まれた街道と海道が交わるおまんたのまち糸魚川」

「時を超えた街道で出会うフレッシュなまち」



### 【ワークショップで絞り込んだ事業アイデア】

少人数での絞り込みから段階的に大人数のグループで意見を集約していく手法により、参加者が重要と思う事業アイデアを絞り込んでいった。

|                     |   |
|---------------------|---|
| 官民協働で取り組む<br>事業アイデア | (1) コミュニティを育む施設<br>(2) 色んな人が集まる多機能な場（みんなの家）<br>(3) 風向きに合わせた並木づくり（まちなみ、景観、防災）                      |
| 民間で取り組む<br>事業アイデア   | (4) 海、山の産物 飲む、食べる、買える 商店街づくり<br>(5) ここにしかない 海の駅<br>(6) 宿泊施設（ホテル）充実<br>(7) 特産品、観光資源を活かすまちづくり       |
| 行政で取り組む<br>事業アイデア   | (8) 8号線向かえへの栈橋の整備<br>(9) 消防力の強化（防災意識を育てる）<br>(10) 防災/夢のあるまちづくり（若者が夢を持つ）<br>(11) 安心安全なまちづくり（設備の整備） |

## 議事(1) 復興まちづくりの目標(目指す姿)について

## 1. これまでの検討委員会のふり返り

第1回

火災の概要、被災地域の特性、復興まちづくり計画の基本的事項(対象地域、計画期間、まちづくりの考え方)

第2回

住民意向調査や各団体からの主な意見  
3つのまちづくり方針ごとの施策案

被災された方、そうでない方  
商売されている方、されていない方  
居住されている方、来訪された方 など

復興まちづくりへの期待は様々です。

そこで、

大まかな方向性を共有できる、復興まちづくりの目標(目指す姿)が必要ではないでしょうか。

例えば…

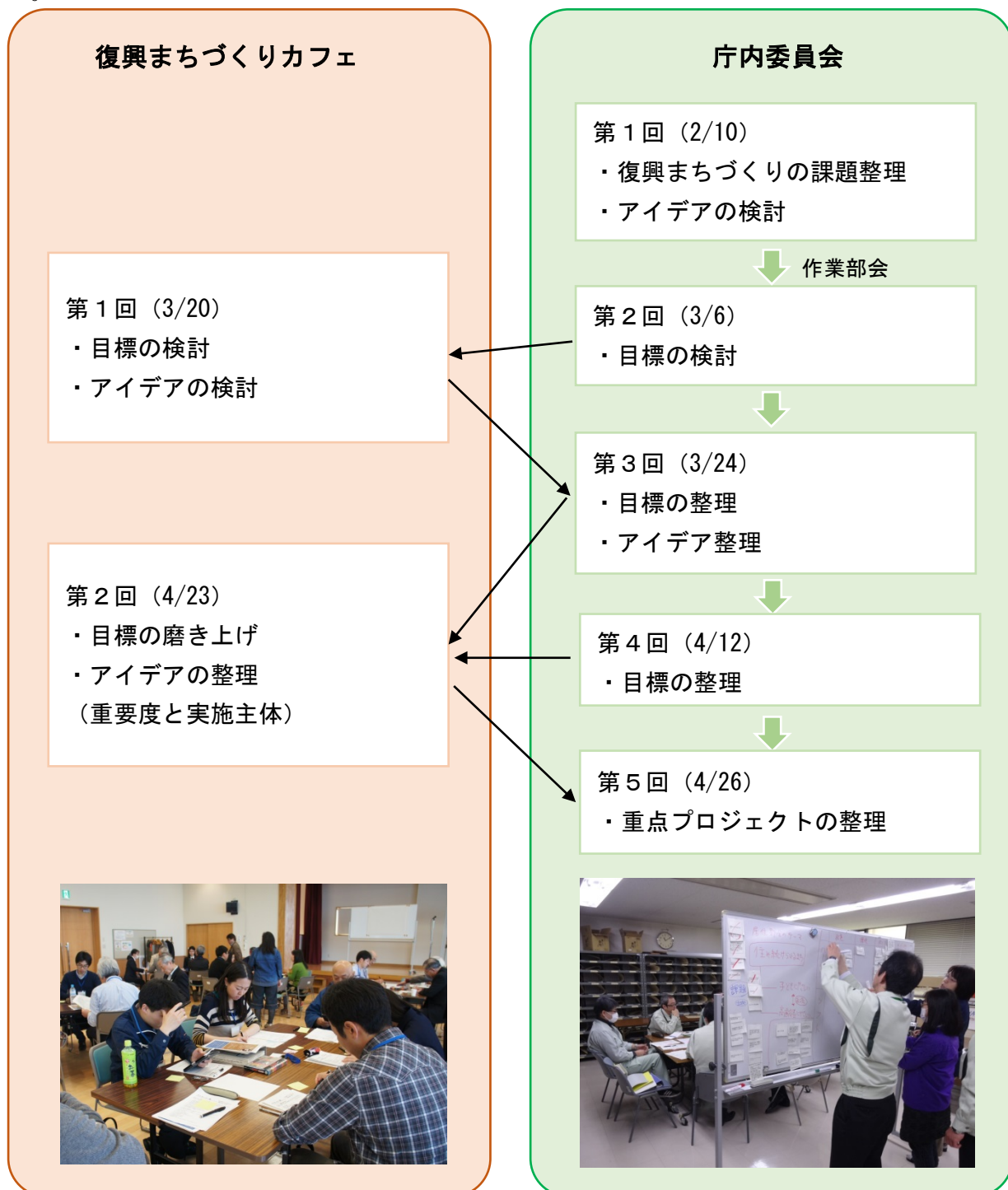
|             |   |              |
|-------------|---|--------------|
| 歩いて暮らせる街    | ⇔ | 車利用を中心とした街   |
| 安らぎ重視       | ⇔ | 効率性重視        |
| 歴史的資産の尊重    | ⇔ | 未来型・近代化志向    |
| 景観・コミュニティ尊重 | ⇔ | 個性・個人・経済性優先  |
| 居住者中心の生活圈   | ⇔ | 観光・来街者の積極的受入 |

どちらか一方を選ぶということではありませんが、  
目指すまちの姿を共有することで

- ★今すべき事やできる事が「明確」になります。
- ★目指すまちの姿の実現に向けて「主体的」に行動できるようになります。

## 2. 復興まちづくりの目標

復興まちづくりの目標（目指す姿）を共有するとともに、その実現に向けた施策（アイデア）を検討するため、復興まちづくりカフェと庁内委員会を開催してきました。



復興まちづくりカフェと庁内委員会における様々な目標（目指す姿）や施策（アイデア）を意味やイメージが近いグループ同士で集約していく手法（集類化）を用いて整理したところ、次のキーワードやイメージが浮かび上がってきました。

## 【キーワード】

- ・ 災害を伝える、災害から学ぶ、災害に強い
- ・ 買い物と食事、人々の交流、散策、海と景観、歴史、街並み、観光客でにぎわう
- ・ 市民でにぎわう、笑顔あふれる、集う、家族、コミュニティ、多世代、安心
- ・ やる気、元気、絆、輝く、蘇る

## 【イメージ】



市民一人ひとりが、今回の大火と過去における大火から、防災について学び、自分事として考え、防災意識を常に高めながら、それを次世代や全国の人に伝え、二度と大火のおきないまちづくりに向けて立ち上がるイメージ

住民や来訪者、老若男女いろいろな人が、商店街でおいしい食事やお酒を楽しみ、街並みや海山の景観を眺めながら、加賀街道や松本街道の歴史を感じながら、楽しく散策する人でにぎわっているイメージ。

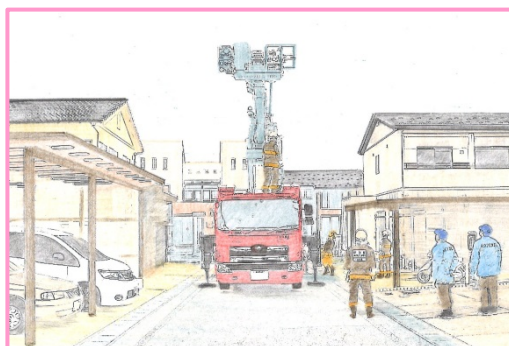
地域に住む子どもからお年寄りまでが、まちのあちらこちらで集い、お茶を飲んだり談笑したり、子どもを遊ばせたりしながら、豊かなコミュニティが形成され、暮らしに笑顔があふれるイメージ。

## 【復興まちづくりの目指す姿】

これらのキーワードやイメージをもとに、復興まちづくりの目指す姿を次のように考えます。

### 安全で安心なまち

火災や災害に強い都市基盤のもとで、過去からの教訓を学び、伝えることができる住民同士の強いつながりが形成され、笑顔で暮らせる安全で安心なまちを目指します。



### 安らぎと緑のあるまち

中心市街地としてのにぎわいや防災面での効果に加え、子育て世代や高齢者などの多世代が安らげる場として、緑のある快適なまちを目指します。



## 歴史の風情が香るまち

雁木や景観に配慮した調和と統一感のあるまちなみに、街道沿いの風情や生活の営みに根ざした歴史と文化の香りが漂うまちを目指します。



## 歩きやすいまち

歩行者にやさしい生活道路と主要幹線道路との機能分担を図りながら、人々が笑顔で行き交う、歩きやすいまちを目指します。



## 住んでよし 訪れてよしのまち

安心して心豊かに暮らせるコミュニティとともに、魅力的で個性あふれる商店街のにぎわいがあるような「住んでよし、訪れてよし」のまちを目指します。



## 【復興まちづくりの目標(キャッチフレーズ)】

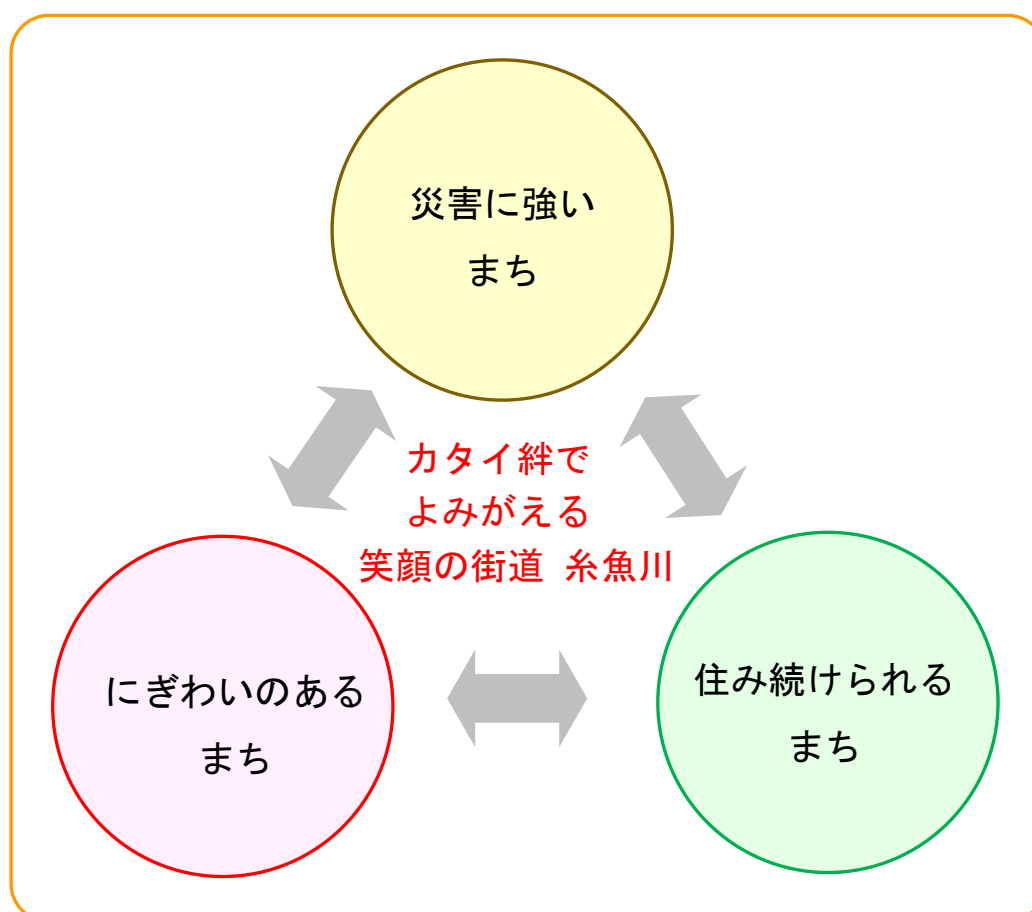
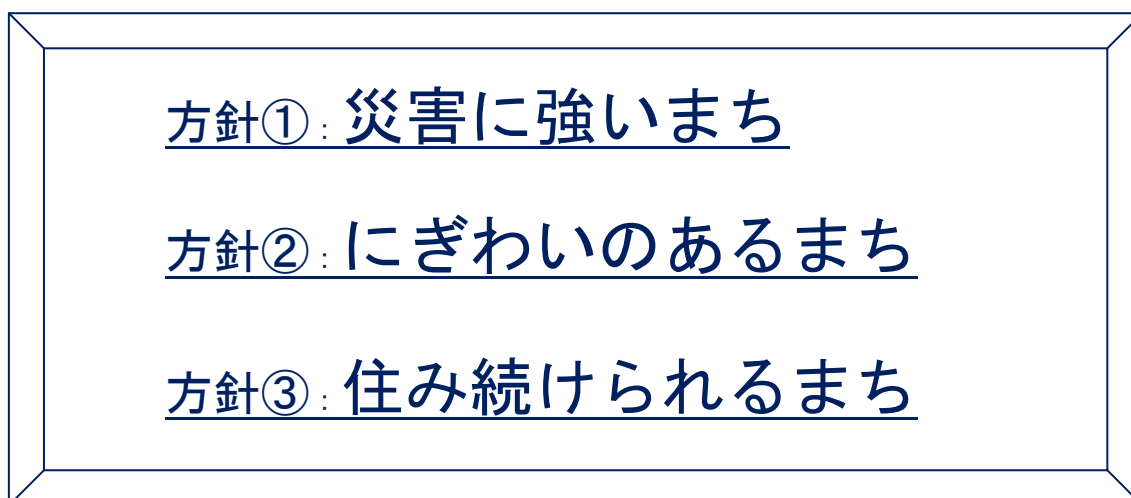
これらの姿を共有し、それぞれの立場で行うべきことを明確にしつつ主体的に行動するための復興まちづくりの目標を次のとおり掲げます。

## カタイ絆で よみがえる 笑顔の街道 糸魚川

糸魚川市で産出される国石ヒスイのようにカタイ絆で力を合わせて大火から復興し、被災者の笑顔とまちのにぎわいをよみがえらせるとともに、歴史ある街道沿いの街なみに人々が集い笑顔で行き交う、歩きたくなるまちの姿をあらわしています。

### 3. 3つの方針と将来イメージ

復興まちづくりの目標「カタイ絆で よみがえる 笑顔の街道 糸魚川」を達成するため、3つの方針を以下のとおり掲げ、復興まちづくりを推進します。

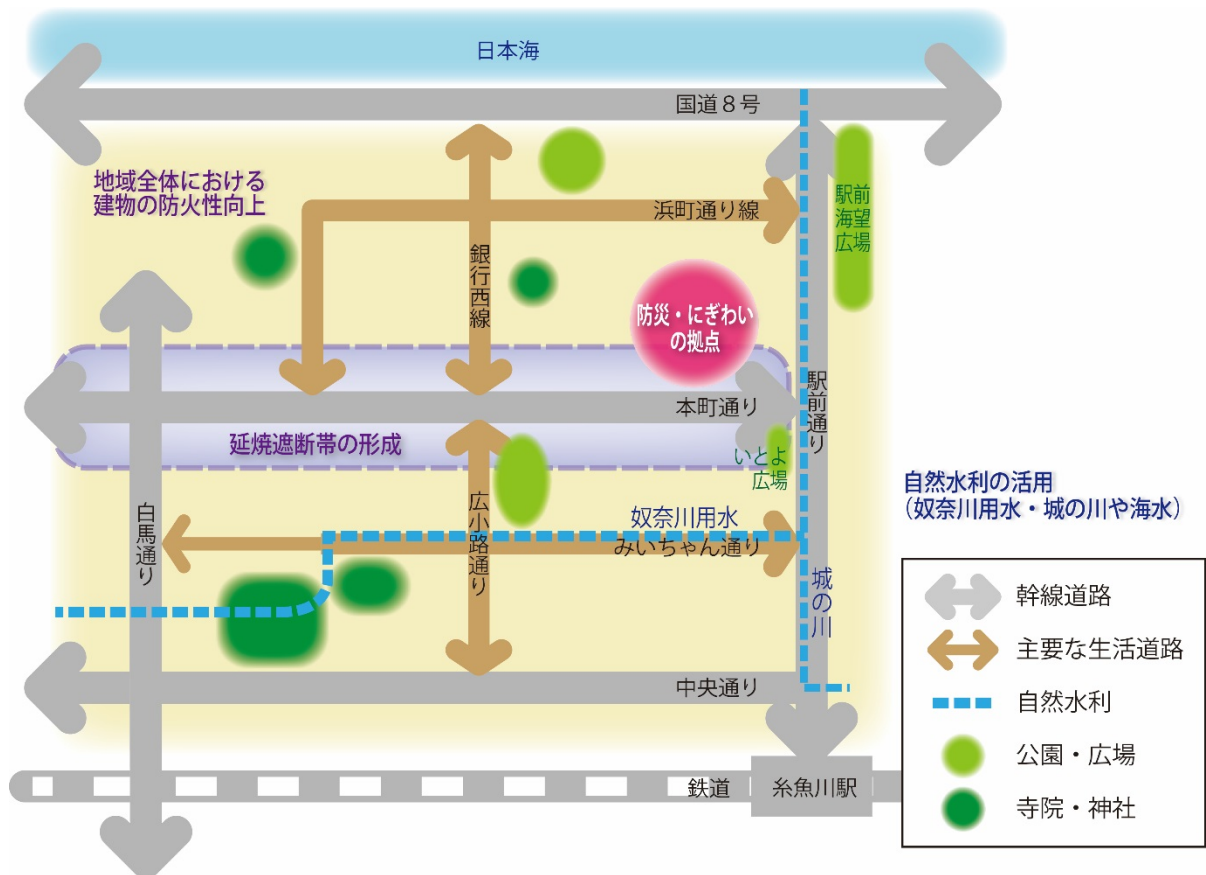




## 方針①災害に強いまち

「大火を二度と繰り返さない」災害に強い安全な市街地再生に向け、道路の拡幅や防災公園の整備、建築物の不燃化などを進めるとともに、消防水利を含む消防基盤の拡充・整備を図ります。

また、常備消防や消防団体制の強化や自主防災組織の充実などをあわせて行うことで、総合的に地域の防災力を高めていきます。



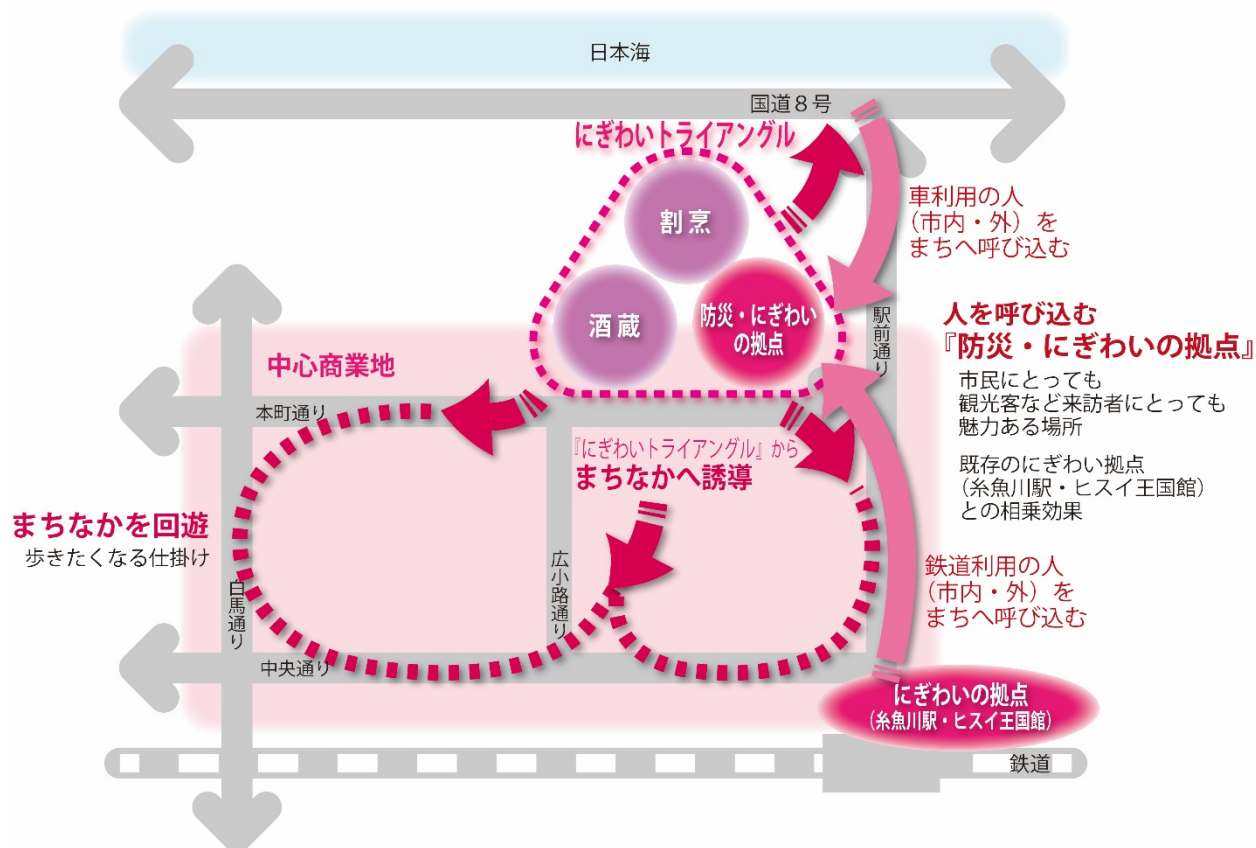
▲「災害に強いまち」づくりに向けた導入機能と配置イメージ

- ・ 奴奈川用水や都市排水路（城の川）、海水などの自然水利を活用します。
- ・ 市道の拡幅により災害時に緊急車両が円滑に通行できる道路網を形成します。
- ・ 防災機能を有する公園や広場などを新たに整備します。
- ・ 本町通り沿いは延焼遮断帯として機能するよう、建物の不燃化を促進します。
- ・ 地域全体でも準防火地域に適合する建て替えを促進し防火性を向上させます。
- ・ 大火の記憶を次世代につなぐ「防災・にぎわいの拠点」を整備します。

## 方針② にぎわいのあるまち

人々が集い憩う中心市街地としてのにぎわいと活力を創出するために、事業再建や起業・創業の支援、防災・にぎわい拠点施設の整備などを進めるとともに、雁木の再生など糸魚川らしいまちなみ景観の形成を図ります。

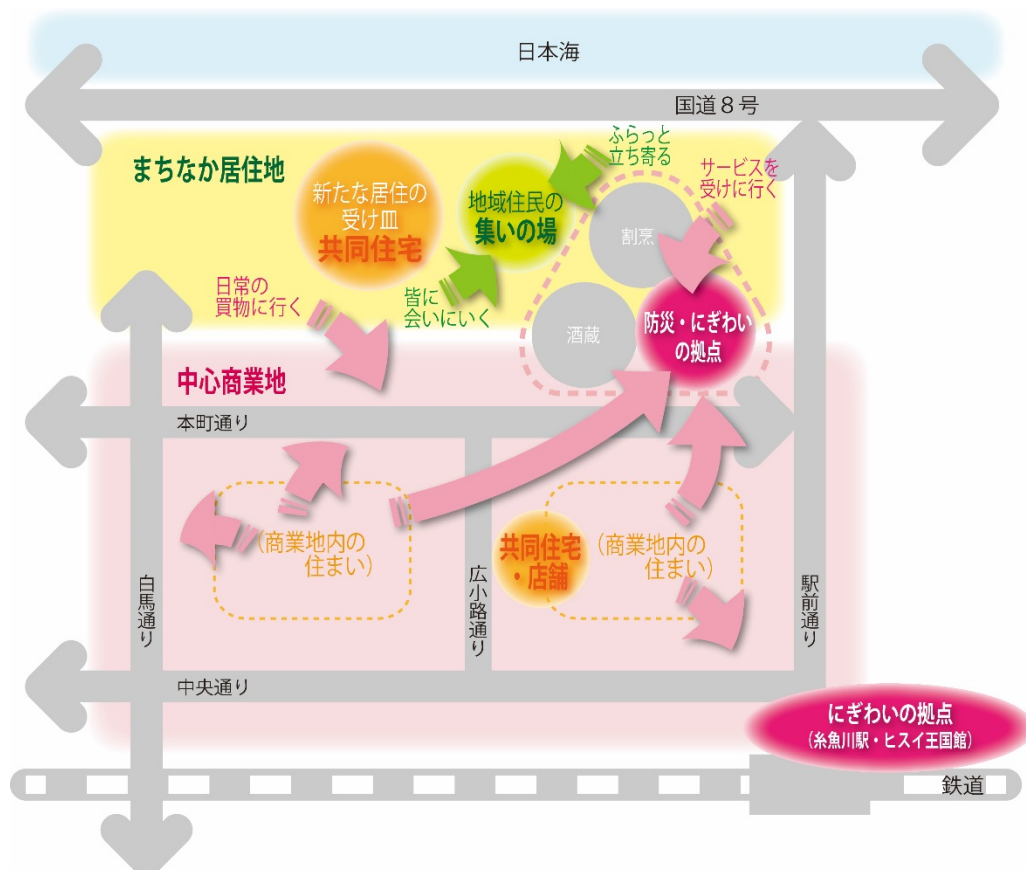
また、商工団体や商店街によるイベントの継続的な開催など民間主体によるにぎわいの創出を支援します。



- ・市民や来訪者が集まる「防災・にぎわいの拠点」を整備します。
- ・歴史ある酒蔵や割烹の再建を支援しにぎわいのトライアングルを形成します。
- ・鉄道利用者と車利用者の双方をまちへ呼び込みます。
- ・ヒスイ王国館などの既存駐車場を補完する駐車場をまちなかに整備します。
- ・主要な幹線道路以外は、歩行者優先の生活道路として位置付けます。
- ・道路の美装化や歩いて楽しめる仕掛けにより快適な歩行空間をつくります。
- ・雁木など糸魚川らしいまちなみや魅力的で個性あふれる商店街づくりにより、にぎわいのトライアングルからの回遊を促します。

### 方針③ 住み続けられるまち

被災前の人口規模を回復し、将来にわたり地域の活力を維持するため、多様な住宅の供給や公園等の居住環境の整備を進めるとともに、高齢者サービスの充実や住民による地域活動の支援等を行うことにより、多世代が安心して住み続けられる便利で暮らしやすいまちを目指します。



▲「住み続けられるまち」づくりに向けた導入機能と配置イメージ

- ・再建を断念された被災者や、新たな居住者を受け入れるための共同住宅の整備を推進します。
- ・不整形な敷地や小規模敷地が集中する場所は、敷地の再編を進めます。
- ・地域住民の集いの場として「防災・にぎわいの拠点」や公園・広場を整備します。
- ・日常生活に必要な買い物ができる店舗、子育てや高齢者向けサービス機能などの導入を促進します。

